

「神経内分泌腫瘍(NEN)肝転移に対する肝切除症例に関する後ろ向き研究」について  
当院では、獨協医科大学 第二外科を中心に他施設と共同の臨床研究として標記研究を実施しております。

#### 1. 研究意義、目的

神経内分泌腫瘍(NEN: Neuroendocrine Neoplasm)は、ホルモンを産生する神経内分泌細胞由来の腫瘍の総称で、全身のあらゆる臓器に発生することが明らかとなっています。経過中に高率に肝臓に転移する疾患として知られており、肝転移の制御がNENの予後向上のための最重要課題となっています。肝転移をすでに初回手術で切除した患者さまの予後を全国調査で行い、肝切除が今後の予後改善の一助となることを期待した臨床研究です。

#### 2. 研究対象

NEN の肝転移と診断され、すでに当院にて初回肝切除の手術を受けられた患者さまが対象です。既に亡くなられた患者さまも対象に含まれます。

#### 3. 研究内容

臨床情報をカルテから調べて、誰だかわからない形で（匿名化）、カルテ上の患者基本情報やCT等の画像所見、治療に対する情報、切除検体の病理結果、生命予後等のデータを獨協医科大学 第二外科に送付します（連結可能匿名化）。臨床情報は、全国の対象患者さんとともに解析されます。

#### 4. 方法

基本的にはカルテの情報をを用いた研究で、亡くなられた患者さまでは、保存されている資料を用いて研究を進めます。

#### 5. 個人情報の取り扱い

個人情報、資料等（臨床情報や試料等）をすべて連結可能匿名化します。資料等を院外へ送付する場合は匿名化されたものだけを提供します。

この研究に関しご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

また、この研究の対象となることをお断りになりたい方（ご本人ないし代諾者）も、下記へご連絡ください。

施設研究責任者 内藤 稔（国立病院機構岡山医療センター外科診療部長）

問い合わせ先 電話 086-294-9911